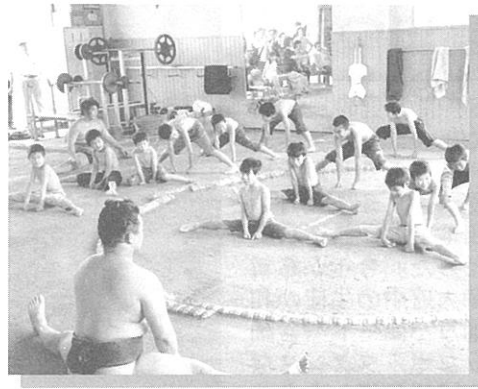




懸命に力を合わせ、力士に立ち向かう子供たち



力士と一緒に、また割をする子供たち

## お相撲さんとの交流会

豊田自動織機大府工場内にある芝田山部屋（第62代横綱、大乃国康親方）を7月5日、大府小学校4、5、6年生と家族ら約80名が訪問「お相撲さんとの交流会」を開いた。

これは大府コミュニティ家庭教育部会が、青少年健全育成のつどいとして初めて実現させた。けいこを見学したあと、力士7名と、しこ踏みや足の屈伸で体をはぐした後、4、5人ずつが一組になり土俵で力士と対戦。力を合わせて懸命に立ち向かっていた。その後、親方や力士に「身体が大きくて困ったこと」や「一日にどのぐらい食事を食べますか」など、次から次へと質問をしていた。大勢の親子が力士との触れ合いを楽しんだ。大府公民館へ移動し、ゲームを行い、賞品として親方から色紙5枚が贈られた。初めて身近に見た子供たちは「けいこは、厳しいが身体が大きいのびっくりしました」と話していた。



大勢の親子が力士との触れ合いを楽しんだ



全員で記念写真はポーズ

# ふれあい

大府コミュニティだより

編集発行

大府コミュニティ  
推進協議会  
調査広報部会  
事務局

大府公民館  
TEL48-1007

助けあう

家庭と地域を

創造しよう

自転車・歩行者

交通安全教室

夏の交通安全県民運動が始まった7月12日、大府コミュニティ推進協議会交通安全部会が自転車・歩行者交通安全教室を大府小学校グラウンドで開いた。深谷同協議会会長、鷹羽大府自治地区長、三浦東海警察署大府幹部交番所長のあいさつの後、大府学区の子どもやお年寄り約百三十人が、市交通指導員の指示通りに正しい自転車の乗り方



や横断歩道の渡り方を学んだ、毎年恒例の教室。乗って来た自転車の点検をも受けた。最後に子ども会代表が「手を上げて、ドライバーに道路を横断する気持ちを伝える、ハンド・アップ作戦」を励行する宣言をした。

## 第27回 大府夏まつり

大府夏まつり実行委員会主催の夏の風物詩「第27回大府夏まつり」(大府コミュニティ、大府商業まつり実行委員会、あいち知多農業協同組合、大府中央通商店街振興組合協催)8月2、3両日、JR大府駅前の市街地で開かれ浴衣姿の大勢の家族連れらでにぎわった。今年から新しく桃陵高校のチアガールや大府中の生徒が和太鼓演奏を初披露した。盆踊りパレードや盆踊り、ヨサコイソーラン、ヒップホップダンスなどが繰り広げられ、涼を求めて繰り出した多くの市民たちを楽しませた。



両側に屋台が並び、遊歩道になった車道は人、人、人で埋まった



大府小学校児童による金管バンド演奏



力強い踊りを披露したヨサコイソーラン踊り



そろいの衣装でヒップホップダンス



⑤大府中生徒19人がやぐらに上がって1人ずつが盆踊りの伴奏として和太鼓を披露  
⑥桃陵高校生徒のチアガール、初めての披露に見物する人達から拍手がわいた



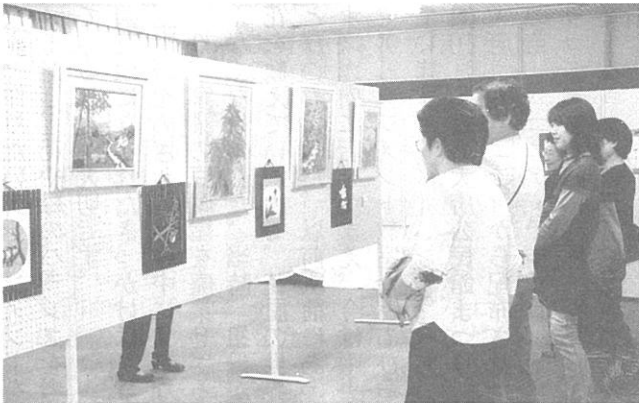
①駅前ロータリーを埋めた盆踊りパレードが花をそえた  
②夏の思い出として夜店で金魚すくいを楽しむ子供たち

## 大府公民館まつり

公民館を利用して教養を深めている団体の学習成果発表の場と地域住民のみなさんに開かれた公民館として親しんでもらい、ふれあいを高めてもらうとともに、公民館活動の一層の充実をめざして毎年開催している大府公民館まつりも今年で27回になる。今回も大会議室など全館を使って子供たちの作品をはじめ婦人会、老人クラブ、各団体による作品が展示され、訪れた人達の人気を集めていた。また大府コミュニティの各部会によるギネス大会、写真の配布、花いっぱい運動などをはじめ商工会、婦人会によるバザーも開かれた。



人気を集めた力士との交流写真無料配布



和紙による、ちぎり絵に見入る人達



子供ギネス大会（フラフープまわし）

学

習

成

果

発表の場

大府陶芸クラブの作品



400株の花の無料配布する環境部会員



## 子供ギネス大会

かし（目隠しをし、片足で立っていた時間）、なわとび（とび続けた時間など）、フラフープまわし（床にくままでの時間）、ビー玉つかみ（30秒で何個つかめるか）の4つの競技を楽しく参加しました。

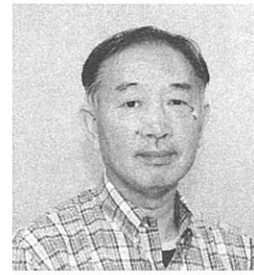
大府小5年 中野日南子

緑花推進事業、花の植え替え  
大府コミュニティ

大府コミュニティ推進協議会は、JR大府駅西などの花壇やプランターで夏の花から秋の花の植え替え作業を行った（9月7日）。岡本大府副市長ら約30人が参加、花トウガラシやリンドウなどの花を植えた。緑花推進モデル事業として昨年からスタートした。同協議会の会員たちが交代で水やりなどをし、手入れをしている。

## あの人この人

花のカジノ 梶野悟司さん(中野)



今回は、大府ふれあいゼミナールのアレンジメントや、大府コミュニティの緑

花事業の御指導で、活躍していらっしゃる梶野悟司さんにお話をうかがいました。

Q 駅周辺できれいに咲いている花についておきします。

A 土づくりから始め、季節ごとに花を楽しんでもらえるようにデザインして植えてあります。今は、日々草、ベコニア、トレニアなど、秋にはりんどう、春には水仙やチューリップが咲くように植えました。日々変化していく花壇やフラワーポットをお楽しみください。

Q ふれあいゼミナールを受講できない人のために、家庭で簡単にできるクリスマスのアレンジメントの方法を教えてください。

A クリスマスカラーである森の緑、雪の白、暖炉の赤をイメージして、花と緑でアレンジします。たとえば、ゴールドクレストの緑、バラやカーネーションの白、ポインセチアの赤、それだけでクリスマスの雰囲気が出

ます。作りたいアレンジメントをイメージし、花や緑のバランスを考え、作ることが大切です。

Q 花屋になられたきっかけは?

A 獣医をめざして勉強中に父がなくなり、家業の豆腐屋を廃業せざるをえなくなりました。当時、祖母がお花を教えていたので、花屋の世界にとびこみました。以前駅前にあったオスカ内に店をかまえ、今は中央町でアレンジメント教室などもひらいています。

Q 10月5日の大府公民館まつりで、大府コミュニティから配布された花の苗(ベコニア、ナデシコ、耐寒マラコイデス等四〇〇株)を、うまく育てるコツを教えてください。

A 苗をポットから出し、根をほぐし、4〜5号の鉢に植え変えてください。ベコニアやナデシコは一般的で育てやすいと思います。枯れた葉はそのままにせずにつみとってください。耐寒マラコイデス(さくら草の仲間)はこれからは日当たりのよい屋外で育て、初夏から秋まで月に二、三回ほど液肥をやってください。特に夏場は水をたっぷりやってください。どの花も、愛情をもって育ててくださいね。

家の中に緑や花があると、心が少し豊かになるような気がします。お話をうかがって、今年のクリスマスはアレンジメントに挑戦したいと思いました。

(大府中PTA 高木 三奈)

## 大府あれこれ

## 菜の花きれいに咲いて

環境問題に取り組む市民団体「大府市民会議推進協議会」は10月18日、菜の花プロジェクトの一環として、大府市東山小学校前の休耕地約二千平方メートルに大府コミュニティ、大府青年会議所などのメンバー約30人が参加して菜の花の種まきをした「写真」。

種を受けとったメンバーや子供たちは土の上へ丁寧にまいていった。来年3月に開花、畑一面に黄色い花で埋まる。「ぜひ、みにきて下さい。とてもきれいですよ。今回いただいたのは鑑賞用にしたい」と同協議会の深谷泰造会長は語っていた。



他にも数カ所で栽培している。これらは、来年6月に刈り取って種から油を採集する。(F)



ガン痛みなく治す粒子線治療に關する講演会が8月23日、大府市役所多目的ホールで開かれ辻井博彦独立行政法人放射線医学総合研究所理事は講演で「粒子線治療は、先端がん治療の推進に向けて進める施設。現在、日本に

は、千葉市と兵庫県の二ヶ所に施設がある。毎年治療に訪れる人達が増えていくという昨年は七百人が治療に訪れた。治療は3〜4日で終わるが健康保険が適用されないため治療費は7〜800万円という高額、それでも治ればと、全国から訪れている」という。こうした施設を誘致しようと大府市が、平成19年の3月議会でも構想を発表した「ウエルネスバレー」大府市と東浦町にまたがる二万平方メートルの区域に医療の核として構想している。具体的な中身はまだわからないが、近くには健康の森や国立長寿医療センター、あいち小児保健医療総合センター、認知症介護研究所・研修センター、老人ホームなどが集まる地区に造ろうというもの。(F)

## 高齢者の介護と福祉

大府市の65歳以上の高齢者は一三、六八二人(平成20年3月末)。このうち要支援・要介護認定者は二、〇二九人。75歳以上の高齢者の3人に1人が要介護者だ。認知症高齢者は約一、〇〇〇人(約50パーセント)で、65歳以上の約14人に1人となっている。介護保険サービスを受けられるのは、家事や身の周りのことなど、日常生活に誰かの支えが必要な状態になったとき。くわしいことは地域の東府東、西どちらかの包括支援センターに問い合わせるといい。生活全般についての悩みなどの相談に乗ってくれる。(F)